

春合宿を通して

名取暢

今、地図をみながら、ここからの開闢地はよ

か、たけあり、なとと、ひとり春合宿の思ひ出

にふけ、ている。初めての合宿参加へ夏合宿は

足のケガのため不参加」と言う事でお発する前

は、体力的不安なども感じていたのだが、いざ

初手、てみると、そんな事は忘れてしまっ

リングの果し、まどかに感じた自分である。た。

鹿島島―松島―西郷隆盛。鹿島島と言うより

は、薩摩、と呼んだ方が、ピンとくる。この

史的雰囲気、のポンピンする土地を訪れる事は

非常に興味深かった。明治維新の豪傑西郷隆盛

をほんだ、薩摩。西郷どんが代表するあ

のすばらしい薩摩気質に、ケ―でも触れたい気持ち

で旅を続けた。―が、僕の野望は打ち消され

てしまうのだが、。自分正ちこそ

本来の日本人だと考えていた、薩摩年人、の

精神、想像の域も、こすほどのゆるゆるとん

質、その人の前に出ると無限に大きな厚い壁に

ぶつか、た。丁うな威圧感とともに無限の安心感

を抱く。うな年人氣質に触れたか、た。僕は男

の理想をそこにみている。そつゆつ意味で今回

の合宿の最大の目的は、年人氣質にケ―でも触

れてきた、い、と、言う所にある。た、だが、熱望し

た甲斐も、なく目的は十分達せられた。た。

冷静に考えれば無理ない事だ、高々2週間位の

旅で、―が、毎日違う場所を寝泊りして、いるよ

うな旅では、この目的は達、せられるはずがない

のぼる。が、行くとも合宿期間中ずつと同じ場
所に宿泊したり、その土地の人とじかに接触し
たい事には無理な話なのである。したがって今
回の合宿は僕にとって観光旅行的雰囲気へ名所
を見てあるくだけの必要を多分に含んだもの
になつてしまつた。

そもそも合宿の意義であるが、一つには「
普段のフリーランでは走を伸ばせられたい(距
離的、日数的)所は、長期のツリーアップ計画を
立てて走つてみる。こゝも言う事が上げられる
と思う。それは良いとして、合宿の目的である
。目的をなすに足ぬるがによつて合宿の内容が
がらりと変わつてくると思う。

の走る事に重点をおく

① 観光的要素を下げ人に多く取り入れる

の場合、自転車というものに十分重点をお

いた物になり、全走行距離が延べ何km、時間が
くつと、いう具合になつて、さういふふうで、②の

場合、自転車を手段として使う場合であり、あ

くまでも目的は観光旅行。さう他の③を混合し

た形もあるだろう、その形が良いという事は

個人個人の問題で他人がとやかく言う必要はな

いが、今回の合宿は限りなく②の形に近い物にな

つたのは、ゆがみも有り事実である。こゝで考

えるに②の形に行つた場合、それが完全に自転

車を交通手段として使う場合、人とものを、サイ

をひたさえる事ができなかつた、こゝにはむしろ金が不

つたら、自転車ではなく、バスでもタクシーでも

むしろ、のであるという考えが、入つてくる。それ

では自転車で旅をするという意義が、なかつた

し、さういふが、実際はさうの間には何かの違

があるのである。バスで旅するのと自転車で旅

するのと。バスではいけない所へでも自転車で
は行けるぞと誰かが言うかも知れない。そう
いうれもあるだろう。道からそれたところ
た所で観光地留にものっまらないすばらしい所
と発見するかも知れない。しかしもつとも
大きき違いがあるように思える。それはその
土地の空気にじかに触れる、と言う事にあるの
ではないか。走りながら海のがありを味わう。
それは山も、の臭いがプンプンするかも知
れない。山のがありを味わう。それは新鮮な
松のにおいかも知れない。田舎の子どもの
遊んでいる姿。そんな物の中にも、その土地の
空気を十分にがみとめる事ができるだろう。
バスに乗って、それは味わえぬ物である。それに
苦勞して坂道を上って、目的地にたどり着く、

の目的地に立って、風景をうら風景をうら。そ
れはあつと言う間にバスに乗って、きつて風景を
がめるのと、同じ風景をうらがるに、その十
二分に違つた感じを持つて、うらがる事ができ
う。苦勞して、ここまで来た甲斐があつたよ
。こつと言う満足感にはバスの連中の何十倍か
するものだろう。その反対に、なつた。こ
な所か、足ががかりなうだよ。こつと思つ時
るだろうが、こつちにして、バスで乗って来
た連中の何十倍もの感懐量を持つて、その風景
を見れることだろう。こつのような理由で今回
倉合宿は②の形に近い物になつて、マリーマ、たけど
それはそれです。旅だつたと思つて、こつち
話には元に戻して、言うまでもなく九州と言
所は新婚さんの多い所である。今合宿も新婚さ

んが目について仕方ない旅ごよみだ。ここぞ

⑩情報 九州へ新婚旅行する新妻さんに美人は

い、ここは僕が秘かにいるん所を取ったデ

ィアであるが。特に長崎鼻へ行く新妻さんは不

作のようである。(もし長崎鼻へ新婚旅行へ行

った方もしくは、新婚旅行へ行った新婚さんの

知人のあ、ごめん下さい。)薩摩富士と呼ばれ

る開聞岳には、どうも似合わな、新妻さんが多

いみたいた。ここぞまた横道にされるが、地方

へ行けば必ず何々富士と呼ばれる山があるけれ

どそんなら富士は美しい山なのだろうが、確か

に美しいけれど何か物足りな山である。確か

に子とす、マッ、安定して、美しいけれど、

かえ、てそこが物足りないうである。あつとご

「さ、さ、た山が好きだ、形はか、こ悪くても

も。とか、ちり、た、強さがほ、い、自分か、さう

思うのは、若いせい、か、もし、れ、い、年を、取、る、み

れば、不安定の物より、安定した物を、好む、の、わ、む、い

れ、い、い、そんな、話で、何々、富士と、名前、が、つく、と、夕

し、い、く、な、感じ、が、して、なら、行、い、開聞、岳、も、開聞

岳、と、して、み、れば、い、い、山、な、だ、が、薩摩、富士、と、呼

ると、ケ、し、眉、を、く、も、ら、せ、な、い、話、に、は、ゆ、か、な、い、。

富士には、月見草、が、よく、似、合、う

開聞岳には、新妻、は、よく、似、合、わ、な、い、

さ、山、に、比、べ、桜、島、は、与、く、と、も、ぶ、か、い、さ、う、の、山、で、と

り、も、好、感、を、お、さ、さ、る、へ、山、な、ら、ば、桜、島、と、は、い、い、)

男、ら、しく、も、と、う、と、う、と、い、い、マ、ッ、て、な、く、と、も、ま、さ

な、い、。マ、ッ、さ、か、な、い、山、に、何、々、富士、と、い、う、よ、う、な、名

前、を、い、ける、人、け、い、い、な、ら、う、が、ら、安、心、し、て、い

る。今回の合宿は山にはほとんど行かず、海岸

線ばかり走ったのでけし物足りないうちもいたが、
 いっもろがらの海岸線の道路のサーブライカーン
 には開口した。岬ぞうばらしい所を一つ紹介し
 ておこう。都井岬はいい。前に広々とした大平
 洋が広がり、石んとも言えらる。中間から入って
 いくのだが、岬までいくのに今一ヒリがっら
 が馬もさるもいて非常に美しい岬だ。南国の燈
 台の感じがでていて実に良い所だ。日南の海岸
 石んがゴリすーと。次に今回の合宿で一番
 楽しかった事。それは知る人ぞ知る光代ちゃん
 である。僕は雌ライオン、松重くんは雄ライオ
 ン他はオメガザル。それは彼が付けてくれた
 ニックネームである。指宿の一夜、市内の公
 園にテニスを張ったのだが、近くの子どもが遊
 びに来たのである。光代、松代、団広の三兄弟

である。特に光代ちゃんも美人で当時小学校五
 年生。十年後が果しめなせの子。その夜は九時
 過ぎまで、ハンケチ奪いこもして遊んだのであ
 った。へ今合宿では、他に、ケガ打ち、カニケ
 リと子どもの遊びが、たのたか、ムんは
 童心に戻って。指宿の町は初風呂、シャニケル
 風呂で有名な温泉町だが、先輩の話によると
 〃初風呂とシャニケル風呂はいいよ。ことさう
 事だ、たか期待はずれ。初風呂は、ゆがたを
 下けてこも良いと。事だ、たか相手が、お
 ぼあちゃんでは。シャニケル風呂は混浴と
 言う話だ、たか、これまたおぼあちゃんへん
 こ、何外人女では。もう一つ今回の合宿の時敵は不手宿ヨリであ
 る。金欠病の人が一人いたため、小とんと置の

ある所には泊まらず、心たすら学校、お寺めぐりであつた。一つ感動したお寺が、たから紹介しよう。鹿屋市も江の浮土真宗花岡山浮福寺である。本家と分家があり、本家の住職さんの親切さには口よい、こしよう。本家は町からは小た山の上にもりまゝに行くには井筒に煮れたか、あまりの親切におどろりまゝ、た。現今旅人にお金を出してせて痛まらせるというお寺があるさうだが、この住職さんの侃のあがでもせんで飲ませない位だ。ごは人にはミイタケごはん、晚酌には「薩摩のいも焼酎」(いさてがいの焼酎にはまいたが、いもやつむがさずけんとも夢ごこちである、雨降りもあつて、結局このお寺には二晩も泊めてもらつたのである。住職さん口、君たちみたいは人たろを泊め

るのかおまじのたま。こも言う。ま、たく好まごけいおはでまじり事だ、飲の心配、風呂の心配、酒の心配と、みやつ、心配で、夜はあまぐよご住職さんと焼酎を飲みながらいそん事と語した。残念な事は住職さんが、この土地の住まれの人だ、たらも、とよがったのは、大阪はまれださうだ。それでも江戸時代における薩摩藩の真宗への圧迫の事実などを聞かしてもら、ま、別れを告げたのであつた。ちなみに住職さんの話では、「お寺の門をくぐる時は心を空にしてくぐらねばいけな、い、けんの敬重も、期待もあ、まはいけな、い、こも言う平だつた。それから焼酎はなまご飲むのが一番いいが、それがいやだ、たら、お湯で割るのが良、いと言う話だ、た。今回の合宿は、ここのおまも合め

あまに四泊したが、あまは非常に親切である。争がわかった。こまは田舎のあまにかぎるが。

それから合宿はやっぱりキャンプか山とむ

み寺泊まりが良い。宿屋はだめだ。旅のおも

ろさが半減する。も、とも前に書いたのの形の

合宿ではこまはあまはあまはいいが。①のよう

な形の合宿ではあまを取らねば合宿中。一月

位は宿屋もどがろうが、なるべくキャンプかお

寺にしたい。まこの土地の人にケイでも多く接

触するたれにもまの方がよい。

最後に今後自分のしたいツリーリングを述べま

終りにしたいと思う。前にも述べたが、僕は旅

の目的の一つにまの土地の人たちの人から人

情に触れたいという事を、もう思っている。た

が、この目的は合宿ではとってはいはたせない

物だと思、まいるし、まの車を合宿に期待する

のも、うちが、まいると思、たが、今度、フ

リランという形で、一週間同じ地域にす

と宿泊まり、じ、くりまの地方に腰を落ち着

けたいと思、まいる。まの場合、行動範囲わ

せまくなるだろう事は確かである。まが

こまではなかに旅がまのまのまのまのまのま

思、まいる。まの場合、自転車で行く必

要があるのだろうか？と思、まのまのまのま

し自転車を持って行かねばとなくとなくまのま

い気持ちはするのまのまのまのまのまのま

所をベリスキャンプとまのまのまのまのまのま

として日帰りコースを組む。徒よりむ自転車

の方が明らかに行動範囲が広く、まのまのまのま

まのまのまのまのまのまのまのまのまのま

のようにならぬ他、乗物にない利息が自転車にはある。
。しかも、同じ場所には寝泊まりしてゐるのみで、
目的は十分としか言えないほどである。ふる程度は
違、せらぬらぬと思う。

おわり

今回から、ツリーリングレポートに要する
小の内容がかわり、当惑したのだが、
結局このように何を言っているのか、わ
からぬまま、マシーナで自分で残念な
す。しかし、一応、今回の合宿を通して
自分の合宿についての考え、してみた。
ツリーリングとどう言う事を、とりとめも
なく書いてみたつもりです。

MIND 羊 MIND